



プレスリリース

2019年3月13日
フィリップ モリス ジャパン合同会社

フィリップ モリス インターナショナル、 男女間の賃金格差がない企業として 世界初となる「Global EQUAL-SALARY Certification」を獲得

日本でも、インクルーシブな環境づくりと人材の多様化を推進し、
「煙のない社会」の実現に向けて事業を変革

- 役員女性比率*: 33%(2018年)、5年で23%上昇
- 女性の採用比率*: 40%(2018年)、5年で24%上昇

*フィリップ モリス ジャパン合同会社における比率

[フィリップ モリス ジャパン合同会社](#)(以下 PMJ 又はフィリップ モリス ジャパン、本社:東京都千代田区、社長:シェリー・ゴー)及び、フィリップ モリス インターナショナル(以下 PMI)は、「煙のない社会」の実現を企業ビジョンとして掲げ、世界中の優秀な男女がお互いをサポートしながら、全力で会社に貢献できる環境を作るためにインクルーシブで多様性に富んだ労働環境を築くこと、さらに性別によるギャップをなくしていくことに注力し、インクルージョン&ダイバーシティ(以下 I&D)を推進しています。



**EQUAL-SALARY
GLOBALLY
CERTIFIED**

その活動の結果、2019年3月4日、PMIはNPO法人「EQUAL-SALARY Foundation」より、多国籍企業として世界で初めて「Global EQUAL-SALARY Certification」を獲得しました。これにより PMIは90か国以上のすべての従業員に対して、性別に関係なく同一の労働に対して同一の賃金を支払っていることが認証されました。日本では、PMJが2016年に国内初となる認証を獲得し、現在まで継続して認証を受けています。2018年までに他国のPMIグループ20社が認証を受け、今回2019年の世界的認証の獲得に至りました。

「EQUAL-SALARY Certification」は、スイスに拠点を置くNPO法人「EQUAL-SALARY Foundation」が、50名以上の従業員を雇用し、そのうち10名以上が女性である国有企業または民間企業において、男女間で同一労働同一賃金であることを認証するものです。

フィリップ モリス ジャパンは今後も I&D を推進し、「煙のない社会」の実現に向けた変革を加速していきます。

また、当社がゴールドスポンサーとなる「W20*」(日本政府主催「[第5回国際女性会議 WAW!](#)」との同時開催)が3月23日(土)~3月24日(日)に開催されます。当社からは、3月24日(日)11:10~12:25のパネルディスカッションに南アジア&東南アジア・リージョン担当社長 ステイシー・ケネ

ディが登場し、「[労働におけるあらゆるジェンダーギャップの解消](#)」をテーマに、当社が推進しているインクルーシブな企業文化の醸成と男女の格差問題への取り組みについてお話しします。皆さまのご来場をお待ちしております。

*W20: G20 のエンゲージメント・グループのひとつであり、女性に関する政策提言を G20 に向けて行う組織体です。エンゲージメント・グループは、G20 リーダーに対して政策提言を行うことで、新たな国際経済秩序の形成に影響を与えています。

PMJ におけるインクルージョン&ダイバーシティ(I&D)

PMJ は、2017 年に「煙のない社会」を実現することを掲げた企業ビジョンを発表し、この大きな目標の実現に向けて、誰に対しても平等で他者に敬意をもって接することは、非常に重要な意味があると考えています。考え方やスキルの多様性は、私たちの野心的な目標を達成するためのイノベーションや創造性、現状打破のためのディスラプションをもたらすと考えています。

世界中の優秀な男女がお互いをサポートしながら、全力で会社に貢献できる環境を作るためにインクルーシブで多様性に富んだ労働環境を築くこと、さらに性別によるギャップをなくしていくことに注力しています。

フィリップ モリス ジャパンにおける具体的な取り組みとしては下記があげられます。

- インクルーシブなカルチャーを築くために必要な能力とマインドセット、振る舞いをリーダーに浸透させ、さらに社内トレーニングを通じて全社に浸透させる
- 採用において個人的で主観的な決めつけや偏見、定型化した判断をなくす
- 社内の人材評価を行う際に性別による差別がないかを精査し、是正する
- 女性で優秀な人材をロールモデルとして共有、認知させる
- 女性同士が社内ですつながり、サポートしあう機会を提供することで、成功に導く
- 個々人のニーズに合ったキャリアと育成計画を作成する
- オフィスでのフリーアドレス、オープンスペースの導入
- フレキシブルな働き方を実現するための制度
営業職:コアタイムなしの完全フレックスタイム制度
本社職:ハーフデーフライデー(週 4.5 日勤務の推奨)および在宅勤務制度
- 育児サポート(育児に掛かる費用のサポート)

その成果のひとつとして、2016 年にはスイスに拠点を置く NPO 法人「[EQUAL-SALARY Foundation](#)」から、同一労働に対する男女間の賃金に差がない企業として認められた認証「EQUAL-SALARY Certification」を日本で初めて獲得し、現在まで継続して認証を受けています。

EQUAL-SALARY Certification について

50 名以上の従業員を雇用し、そのうち 10 名以上が女性である国有企業または民間企業において、男女間で同一労働同一賃金であることを認証します。

<認証の目的>

企業が賃金に関して公平かつ差別のない指針を持ち、経営陣と人事部がその指針のために尽力していること、さらに企業と従業員およびステークホルダー間の信頼を強め、企業として継続的に改善努力をしていることを証明することです。

<認証のプロセス>

「EQUAL-SALARY」の認証プロセスは、PMI のすべての従業員の給与の統計的分析と、PMI アフィリエイトでの PwC (「EQUAL-SALARY Foundation」より委託された監査法人) による監査を含みます。監査では以下のことが確認されます。

- 経営陣が男女間の同一労働同一賃金に対する企業としてのコミットメントを明示
- 従業員へのフォーカスグループインタビューで経営陣のコミットメントに対する理解を確認
- 性別による偏見を見極めるための人事プロセスの調査
- 是正の必要がある場合には、そのアクションの提言

<認証を受けるベネフィット>

- 雇用主としての PMI の魅力を高める
- 先進的な考えを持つ公正な組織で働いていると知ること、従業員の帰属意識や誇りを高める
- 認証のプロセスにより社内の意識が高まるだけでなく、PMI の事業変革の重要な要素であるインクルーシブな労働環境の実現と、性別によるギャップをなくしていくためのさらなるアクションを引き起こす

EQUAL-SALARY Foundation について

社会起業家であり現在まで代表を務めるベロニク・ゴエ・フィンハウス氏によって 2010 年にスイスのヴヴェイに設立された NPO 法人です。認証プロセスの継続性と質を確保し、スイス国内外の企業や団体に「EQUAL-SALARY Certification」を普及させることを目的としており、機密情報を公表することなく、企業が男女間で公平な給与方針を適用していることを証明することを基本理念としています。「[EQUAL-SALARY Foundation](#)」はスイスのジュネーヴ大学と共同で開発されたプロセスに基づいて、同一労働同一賃金を推進する唯一の NPO で、スイス連邦から支援を受けて運営されています。

企業ビジョン「煙のない社会」の実現に向けて

[フィリップ モリス ジャパン](#) はフィリップ モリス インターナショナルの日本における子会社です。日本で販売される紙巻たばこや煙の出ない製品、関連電子機器およびアクセサリ類を含むフィリップ モリス社製品のマーケティング・販売促進活動を行っています。PMJ は 1985 年に日本で営業を開始して以来、着実に成長を遂げ、今日、全国に約 1,950 人の従業員を擁し、日本のたば

この市場で約 34.0%のシェアを有する、加熱式たばこ市場を牽引する日本第 2 位のたばこ会社です(2018 年末現在)。「煙のない社会」の実現を目指し、今後もたばこ製品を使い続ける成人喫煙者にとって、公衆衛生の観点からの社会全般と様々なステークホルダーにとって意義のある代替製品を提供すべく、紙巻たばこ全てを煙の出ない製品へと切替えることを目指し、たばこ業界においてトランスフォーメーション(変革)を推進しています。

報道関係者用問い合わせ先

フィリップ モリス ジャパン合同会社
コーポレート・アフェアーズ 小池/岩崎
TEL: 03-3509-1715 / FAX: 03-3506-7730
Email pmj.press@pmi.com